

平成28年5月27日

自動車局

タカタ製エアバッグ・インフレーターに係るリコールの拡大スケジュールについて

タカタ製エアバッグ・インフレーター(ガス発生装置)の異常破裂に関しては、タカタ及び関連自動車メーカーが外部の調査専門機関を活用して発生原因の調査を行ってきましたが、今般、インフレーターの中にある火薬(硝酸アンモニウム)が湿気のある状態で長期間の温度変化にさらされると劣化することが明らかとなりました。

これを踏まえ、国土交通省は、関連自動車メーカー等に対し、乾燥剤の入っていないタカタ製エアバッグ・インフレーターを搭載した車両のリコールへの対応についてヒアリング等を行い、以下のとおり、国内の関連自動車メーカーによるリコールの拡大スケジュールをとりまとめました。

国土交通省としては、本日、関連自動車メーカー等に対して、当該スケジュールを可能な限り前倒してリコールするよう指導しました。

乾燥剤が入っていないタカタ製エアバッグ・インフレーターに係るリコール対象範囲の拡大スケジュール

リコール届出時期	対象車両の製造年			対象車両数
	運転席側インフレーターを搭載した車両	国内で不具合が起きている助手席側インフレーター(SDI及びSPI)を搭載した車両	国内で不具合が起きている助手席側インフレーターを搭載した車両	
2016年6月まで	全て	～2008年製		約700万台
2016年11月まで		～2011年製	～2009年製	
2016年度末まで		～2012年製		
2017年度末まで		～2013年製		
2018年度末まで		上記以降に製造されたもの		

※ このほか、これまでのリコール改修によって乾燥剤が入っていないインフレーターを装着された車両については、2019年度末までに再度リコールする。

問い合わせ先:

国土交通省自動車局審査・リコール課 佐橋、塚田

TEL: 03-5253-8111 (内線 42351、42363)